

変態ザコ戦闘員Y01

千年の歴史を追う、狐火を身に纏う妖術使い。

先祖がえりの特別な力を持って生まれたユオルは、遠い昔に一族が仕えた「失われた王家」を復興させるべく、大きな使命を背負い旅立ちを決意する。

しかし、世界を旅する途中で「人格排泄教会」に捕らえられ、変態ザコ戦闘員へと改造される。さらに、彼女の体内に宿っていた強大な力は教会により抜き取られ、性交専用の特殊能力へと作り変えられてしまった。

淫らでセクシーなダンスを用いて他人を誘惑し、精液を搾取することに長けている。女性が彼女のダンスを見ると心を容易に支配され、洗脳されてしまう。

現在、改造を施されたユオルは、変態ザコ戦闘員Sと共に、変態ザコ戦闘員LV1の姿（ピンクのぴっちりスーツ）に通常の衣装を組み合わせ、元の仲間の陣営に潜入している。

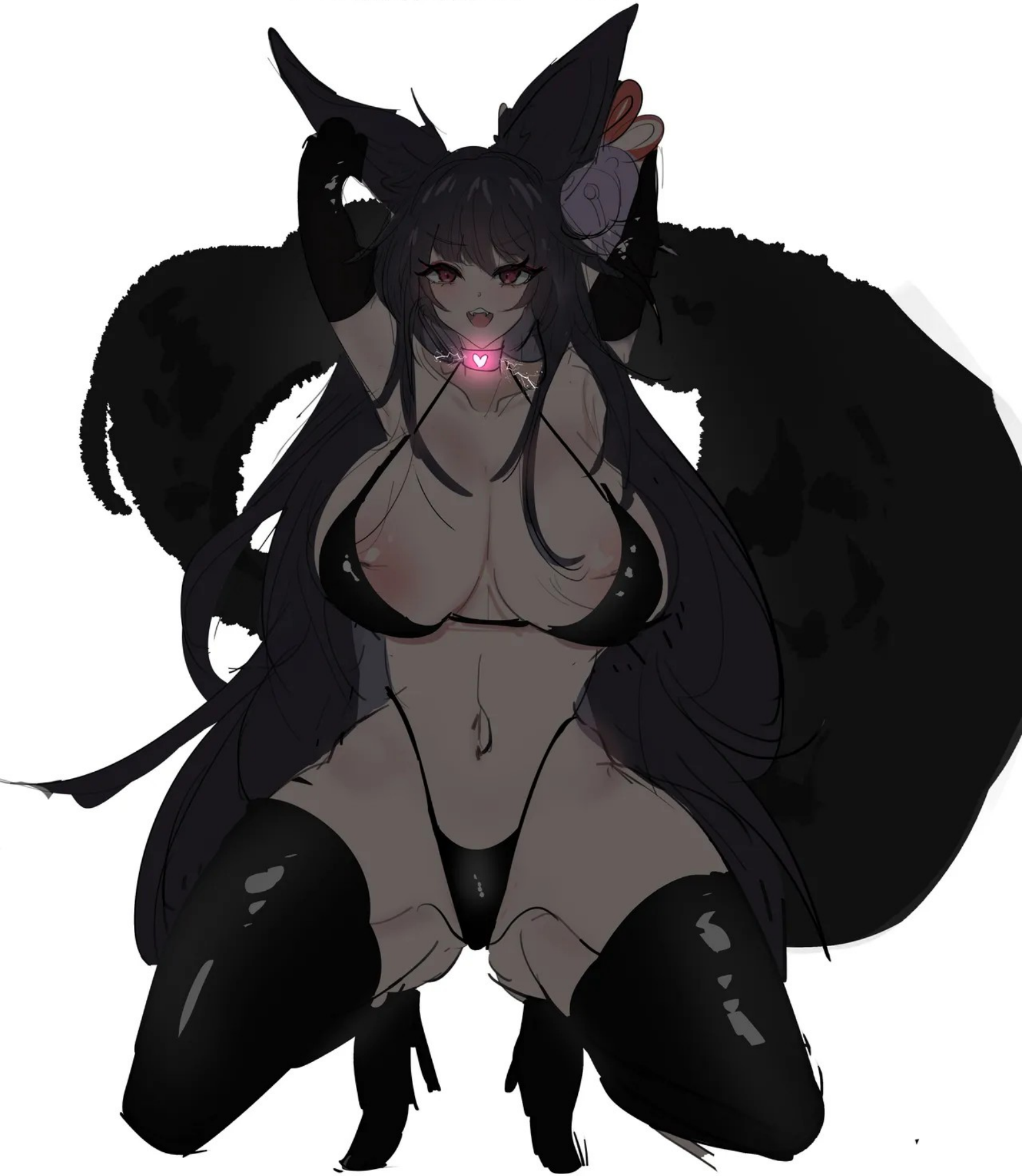
彼女たちはすでに洗脳が完了しているが、レベル1の状態では通常時の人格や思考を保っているため（ただし、一部の影響を受けているので、無意識に変態的で下品な言葉を口走ることもある）、仲間から疑われることはない。彼女たちは教会が目をつけた女性メンバーを密かに催眠し、教会へ連れ戻して、自分たちと同じように優秀な戦闘員へと改造している。

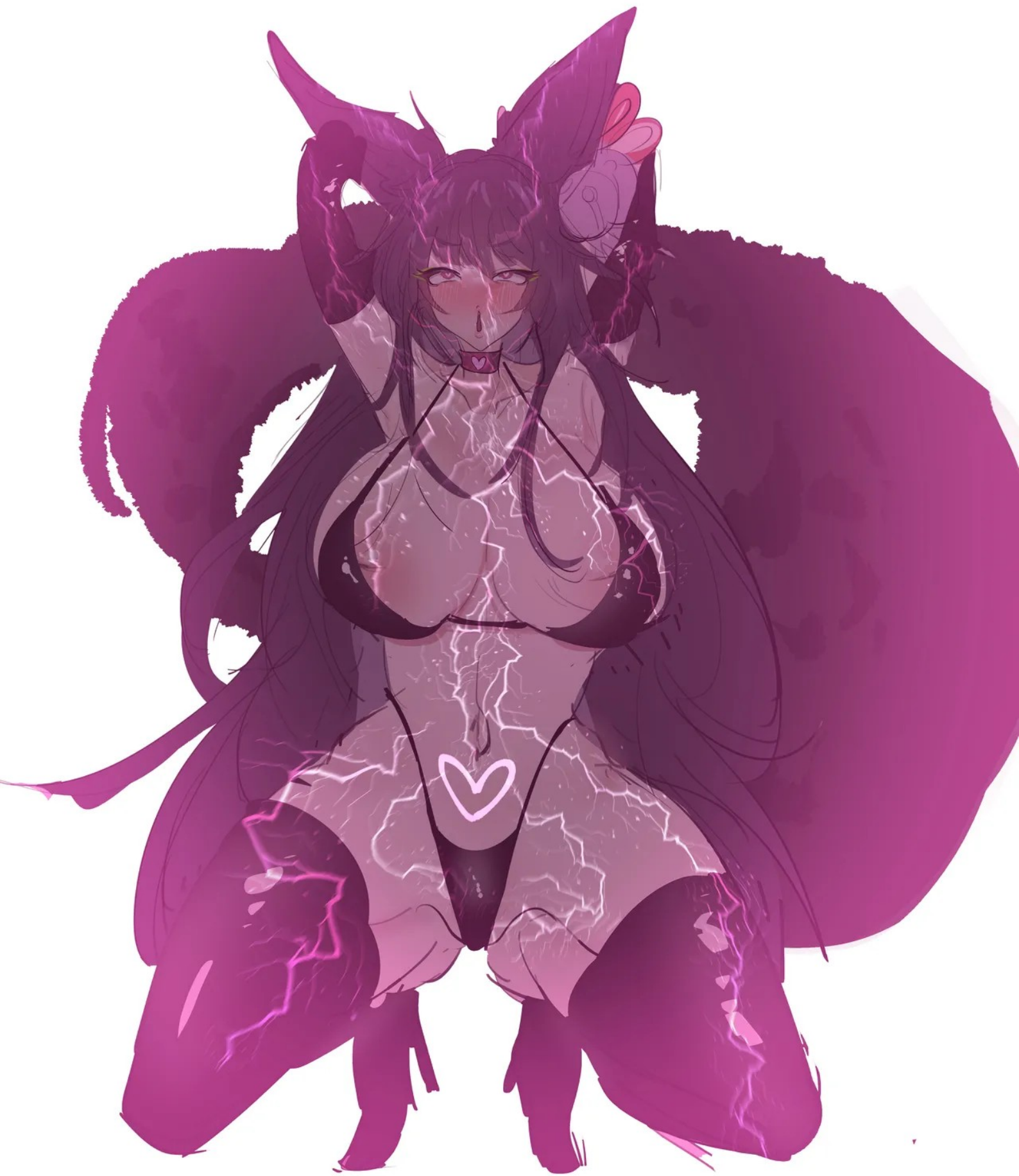
彼女は最初期に改造された戦闘員の一人であり、戦闘能力こそ高くないものの、絶対的な忠誠心と優れた諜報能力を備えている。仲間の心にゆっくりと浸透し、洗脳する技術にも非常に長けている。彼女は戦闘員となった後、自分の幼馴染であるソ〇エを捕らえて戦闘員へと改造した。その後、二人は頻繁に行動を共にし、任務を遂行している。

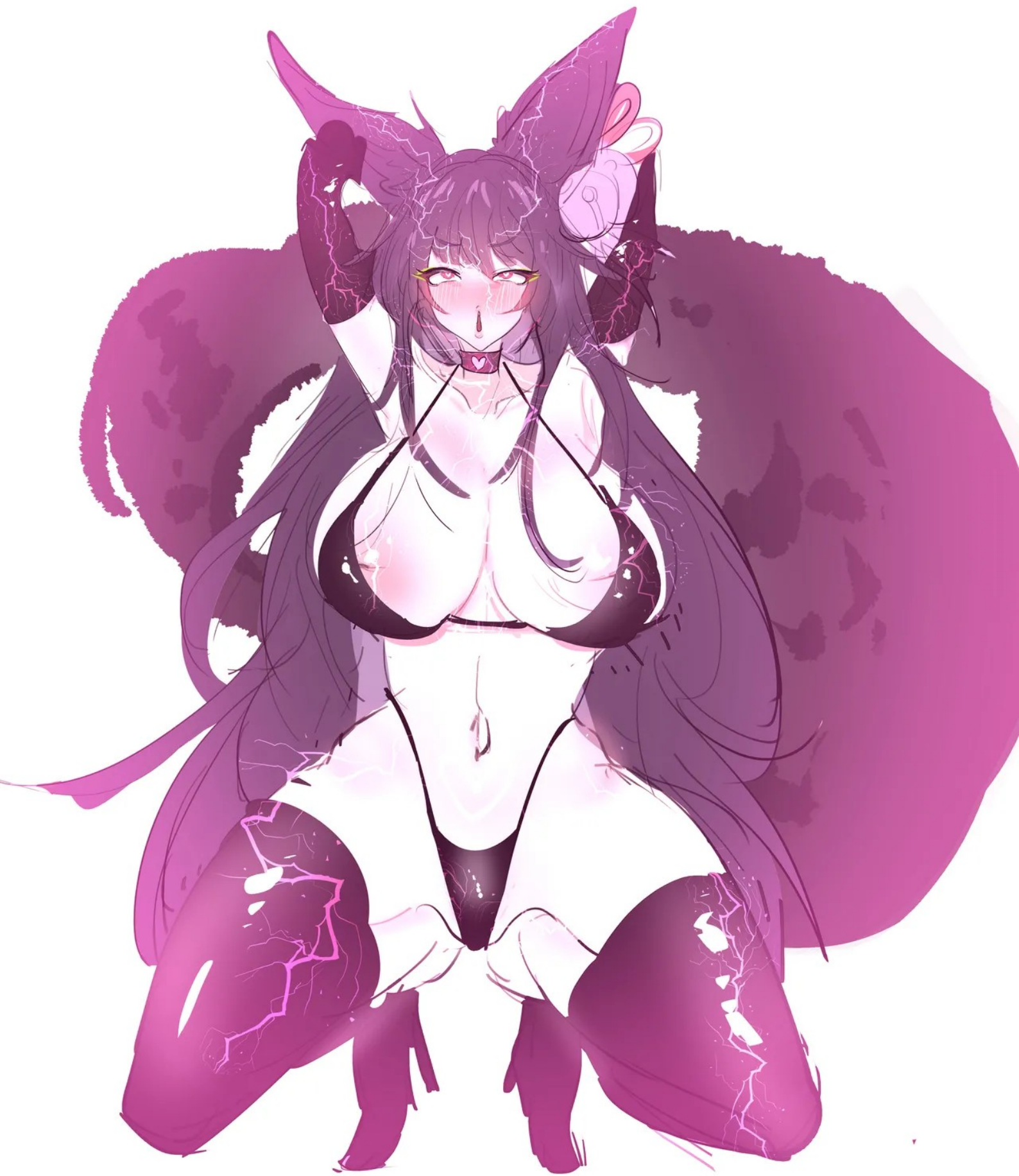
人格率100%



人格率100%
ザコ戦闘員化LV0-->LV1







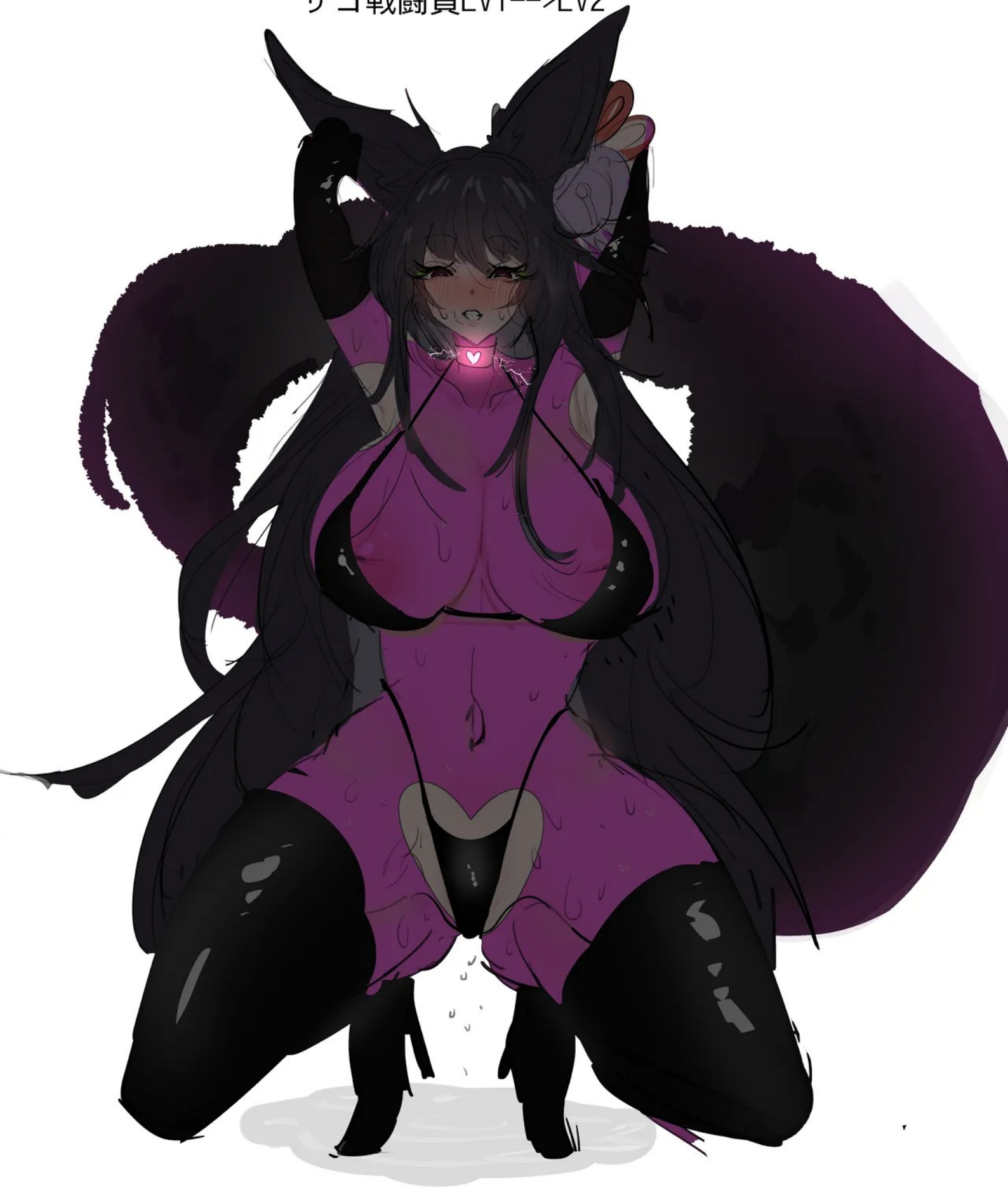




人格率80%
ザコ戦闘員LV1



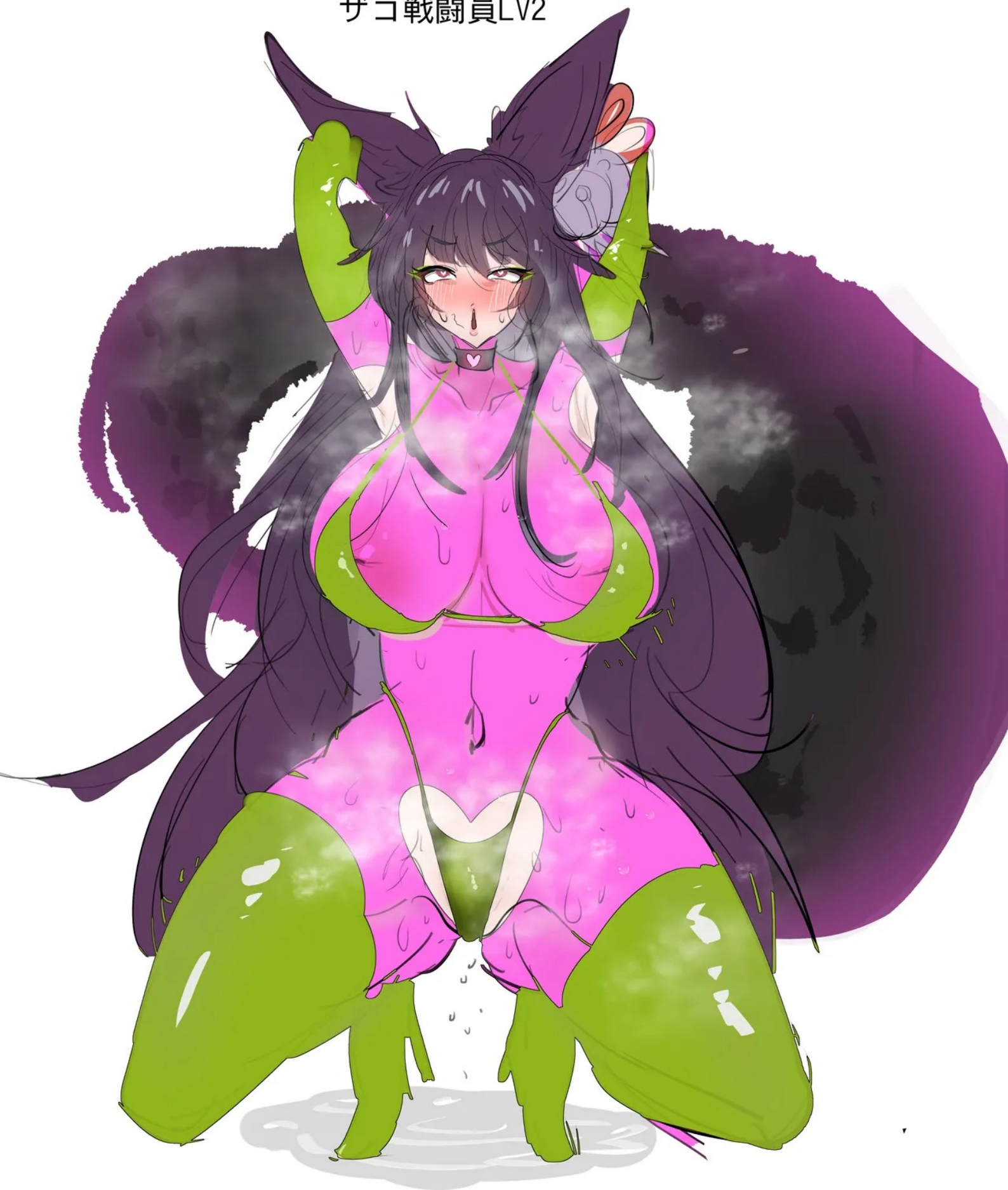
人格率80%
ザコ戦闘員LV1-->LV2

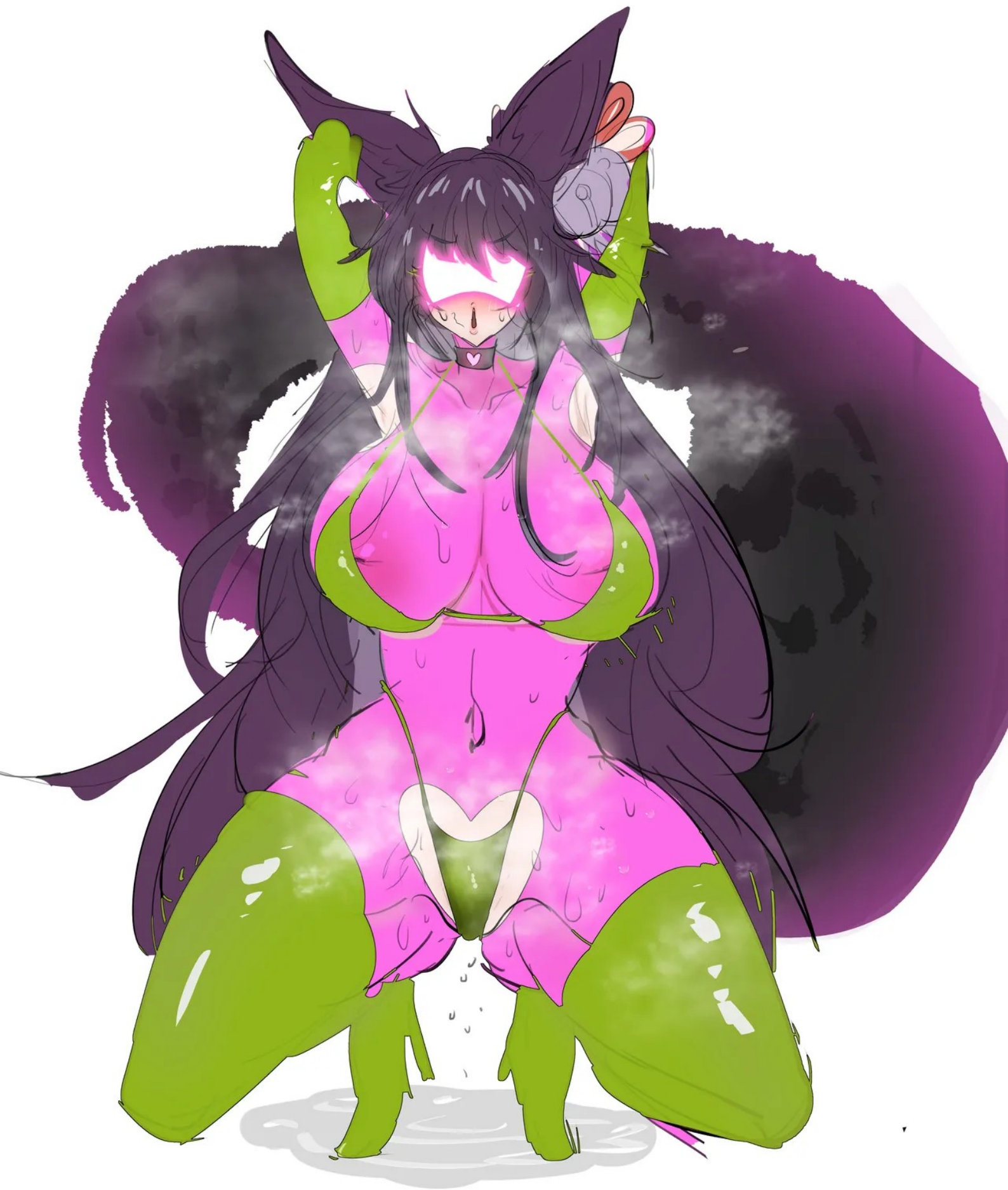




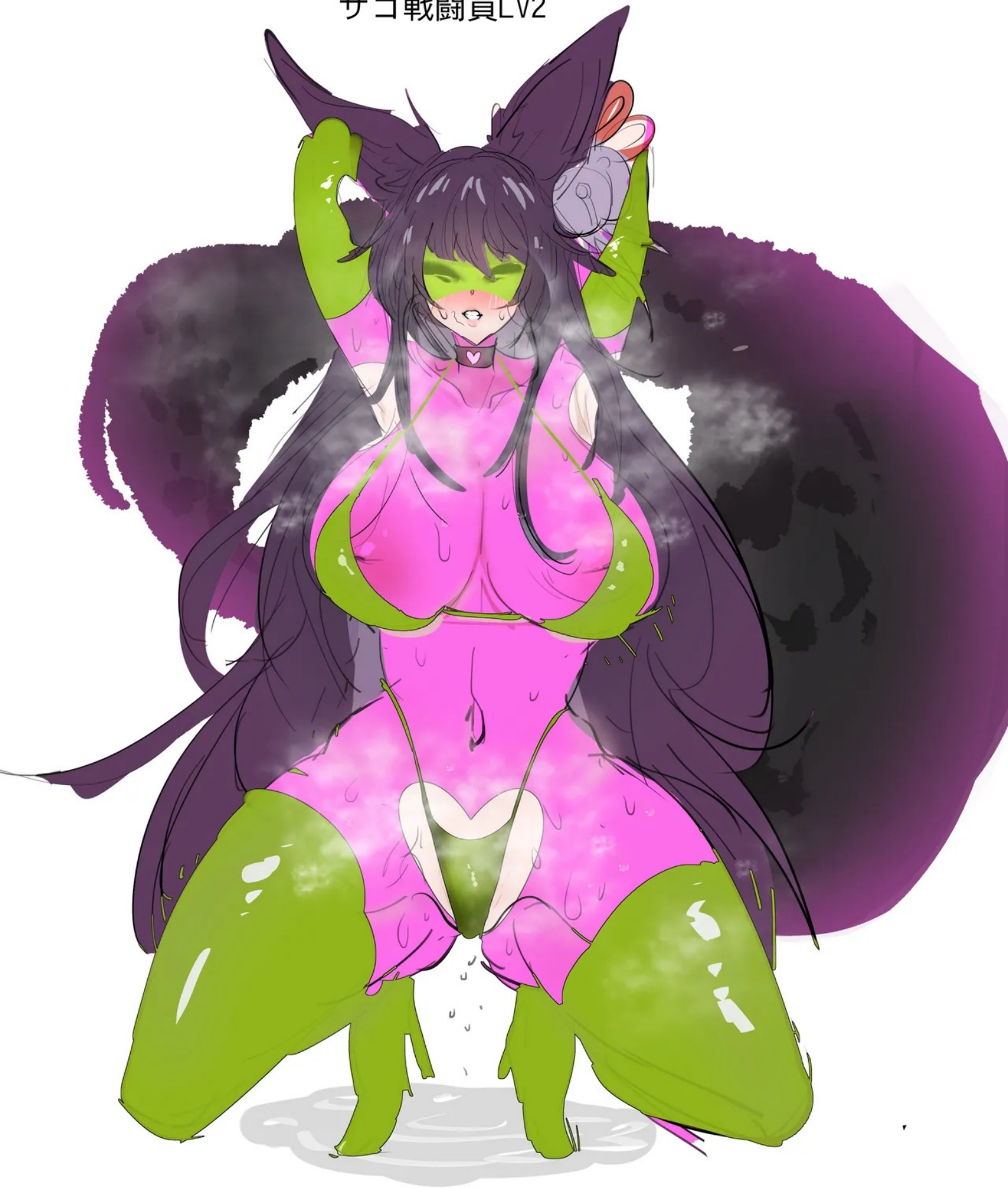


人格率60%
ザコ戦闘員LV2





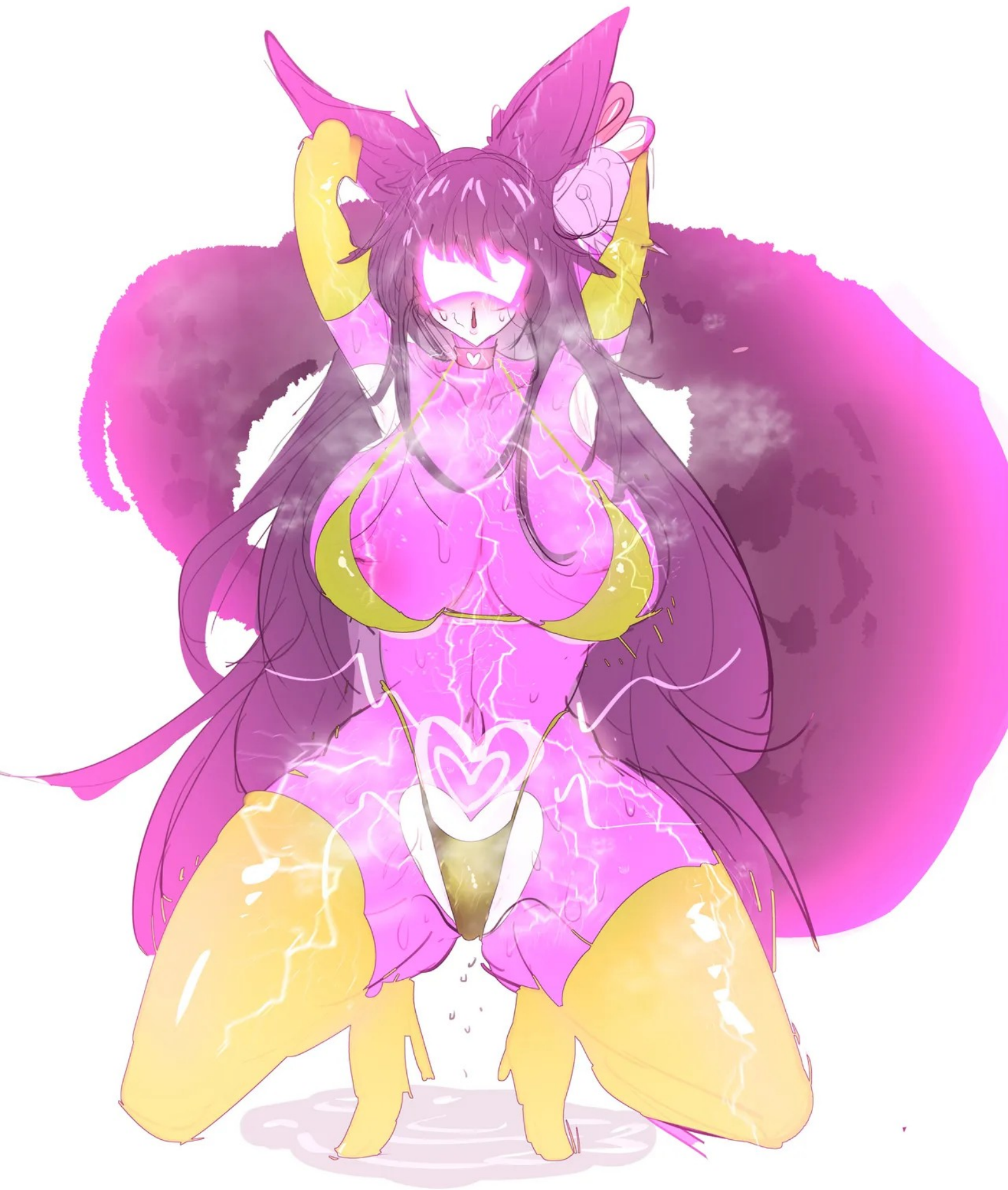
人格率40%
ザコ戦闘員LV2



人格率40%
ザコ戦闘員LV2-->LV3

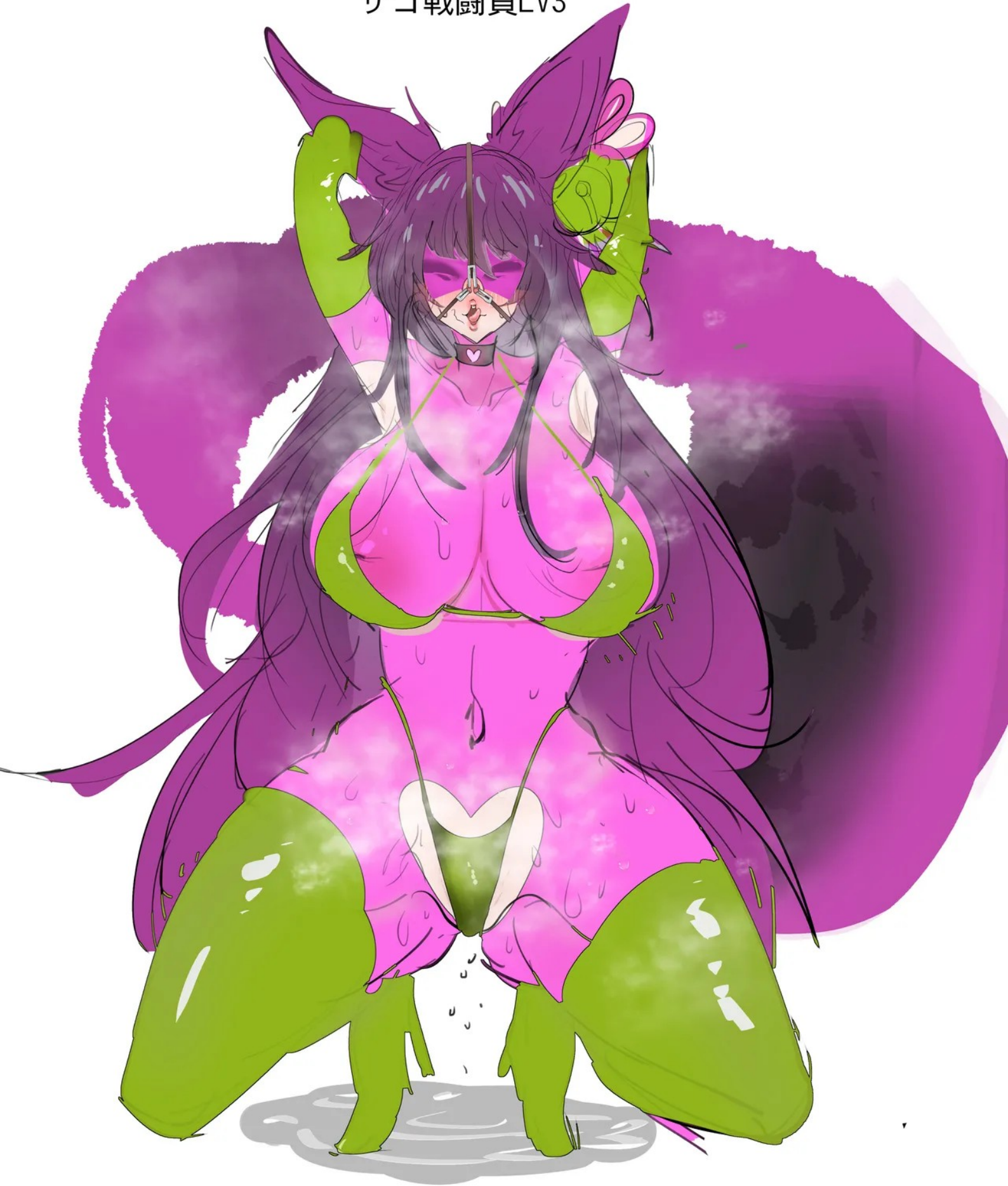








人格率20%
ザコ戦闘員LV3



人格率0%
ザコ戦闘員LV3(不可逆)



変態ザコ戦闘員B01

青い巨大な猫を連れた青い髪の子猫耳女性の姿をしている。

もともとは踊りや音楽を得意としていたが、捕獲が非常に困難なうえ、性格も傲慢かつ挑発的だった。精神が極めて強靱なため、通常の洗脳処置では効果が薄く、教会は彼女に対して、より高度な戦闘員用の洗脳を施した。その実験の成果は非常に優秀で、改造により彼女の潜在能力を完全に引き出すことに成功し、以前よりもさらに豊満で妖艶な肉体を手に入れた。

「変態ザコ戦闘員B」として改造された彼女は、まずLV1の状態で各地の風俗街に派遣され、男性たちに声をかけて性行為を行い、教会の資金回収の役割を担った。彼女は男性から非常に好評で、その利用回数は5桁を超え、6桁に達したとも言われている。彼女を利用した男性の証言によると、「相手を倒して、何らかの道具を奪いたくなるような衝動に駆られる」らしい。

しかし、あまりにも過度に利用されたため、彼女の身体は徐々に緩くなってしまい、その後LV2、LV3と段階的に改造を施しても、戦闘能力はまったく向上しなかった。それどころか、身体があまりにも過敏になり、わずかなダンスの動きでさえ軽く体を揺らすだけで性的な快感を覚えてしまうため、戦闘員として完全に役立たずの存在となってしまった。最終的に教会は彼女を廃棄処分にすることを決定した。

最後に教会は、彼女の人格に残された価値を徹底的に搾り取るため、彼女が性的な絶頂を迎える寸前に魂を身体に戻してから石化させて封印した。これにより、彼女の意識は永遠に絶頂寸前の状態で固定されている。

現在、彼女は男性用トイレに設置された装飾アートの小便器として使用されている。



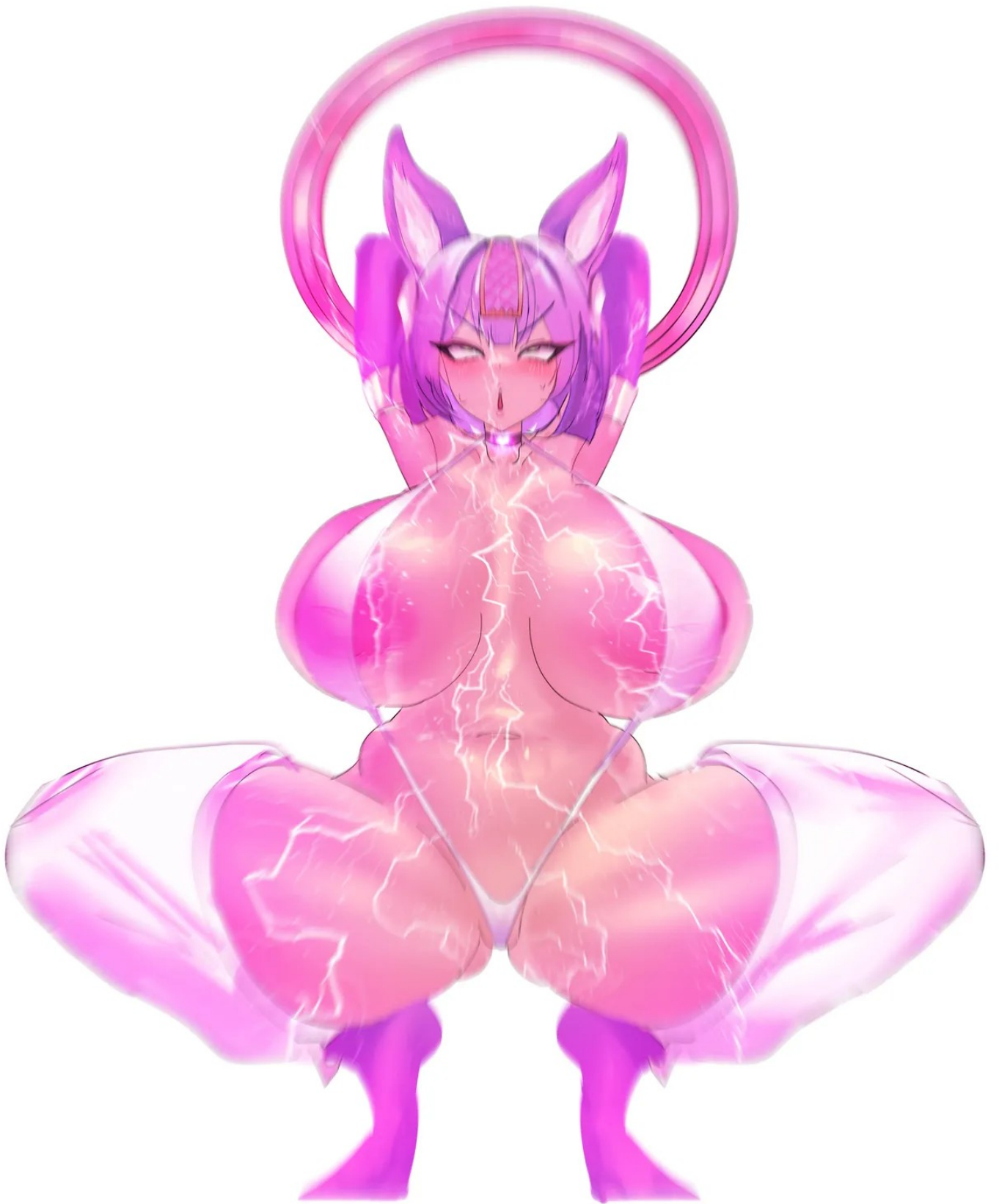
人格率100%



人格率100%
ザコ戦闘員化LV0-->LV1





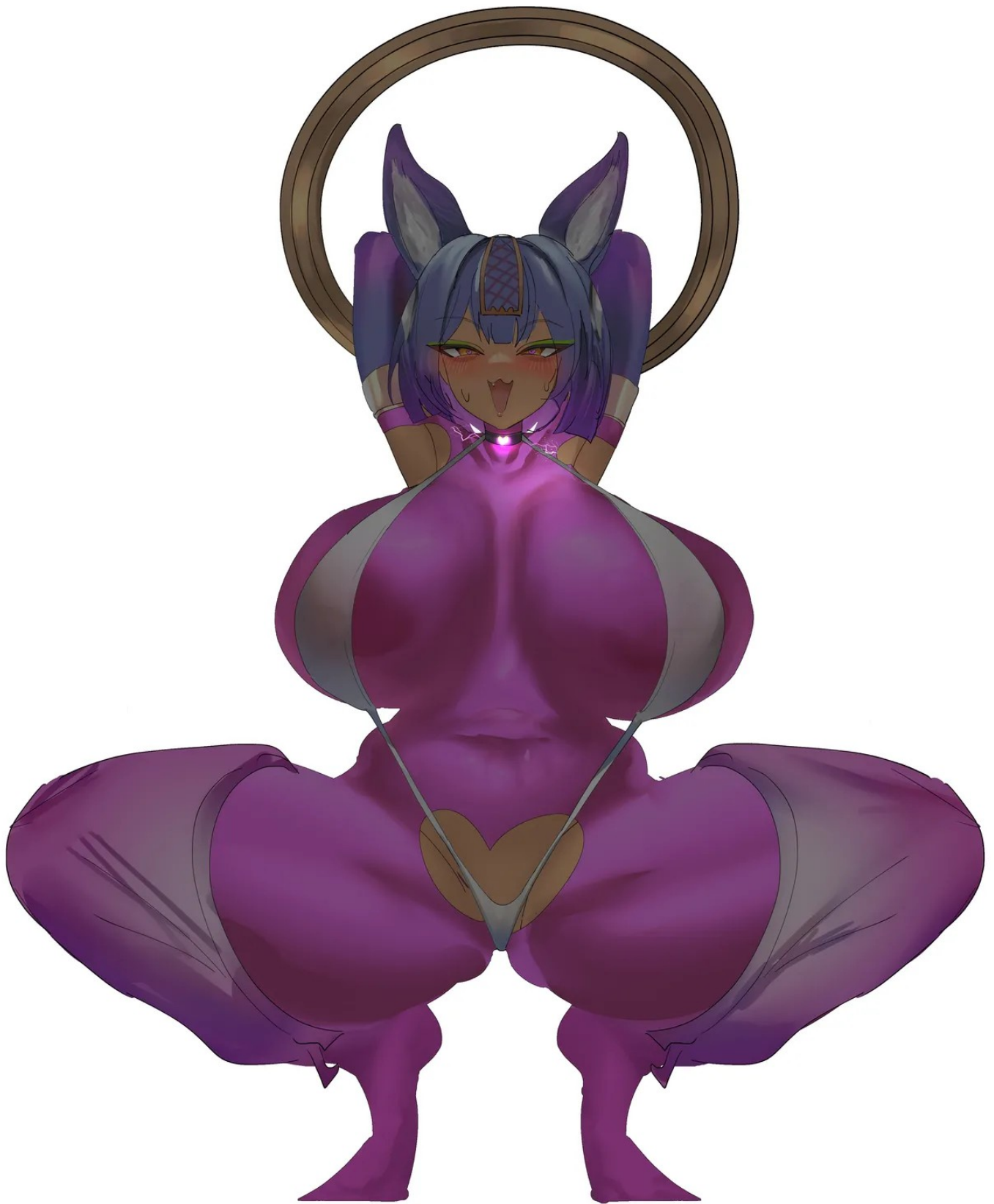




人格率80%
ザコ戦闘員LV1



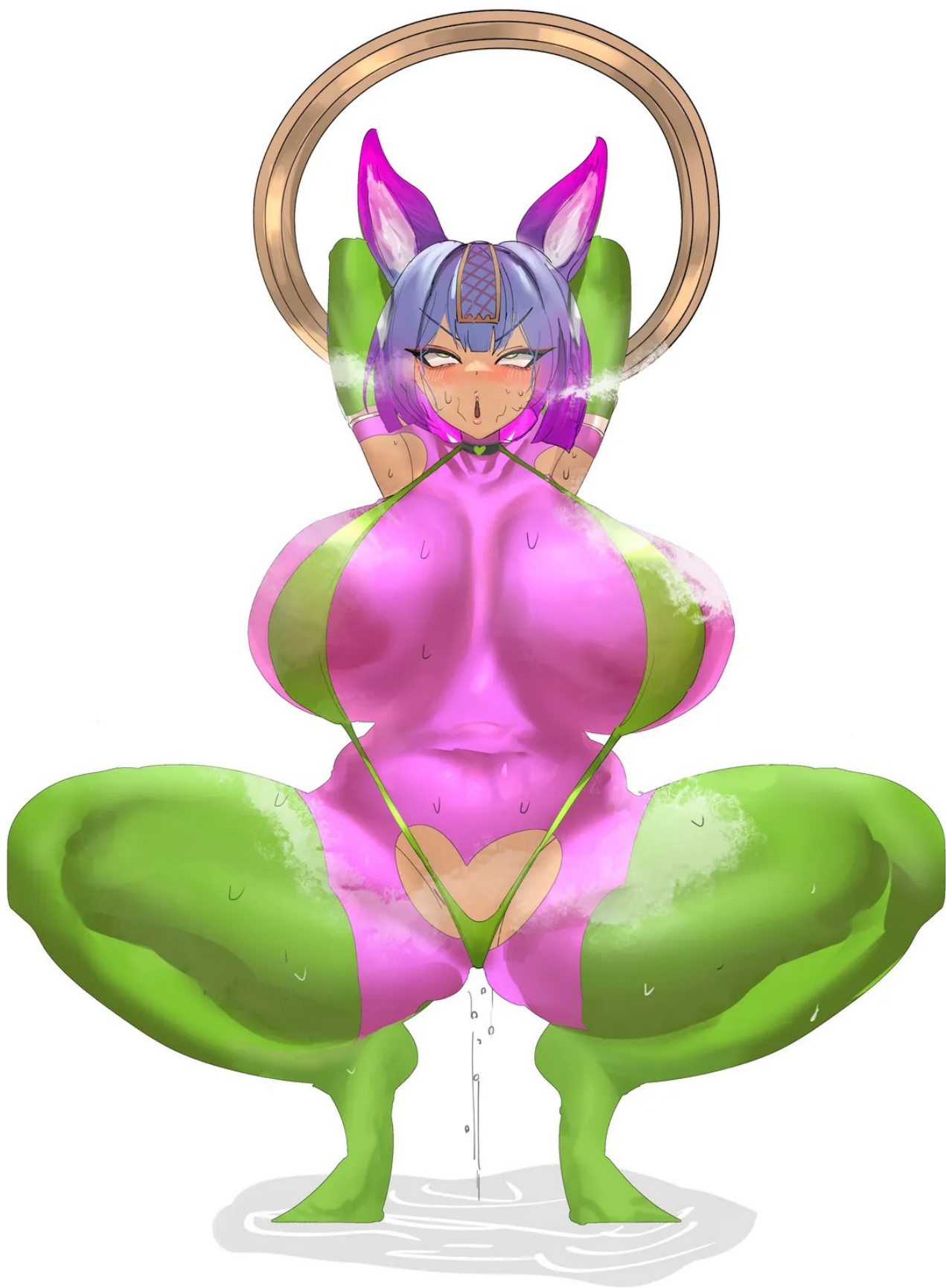
人格率80%
ザコ戦闘員LV1-->LV2

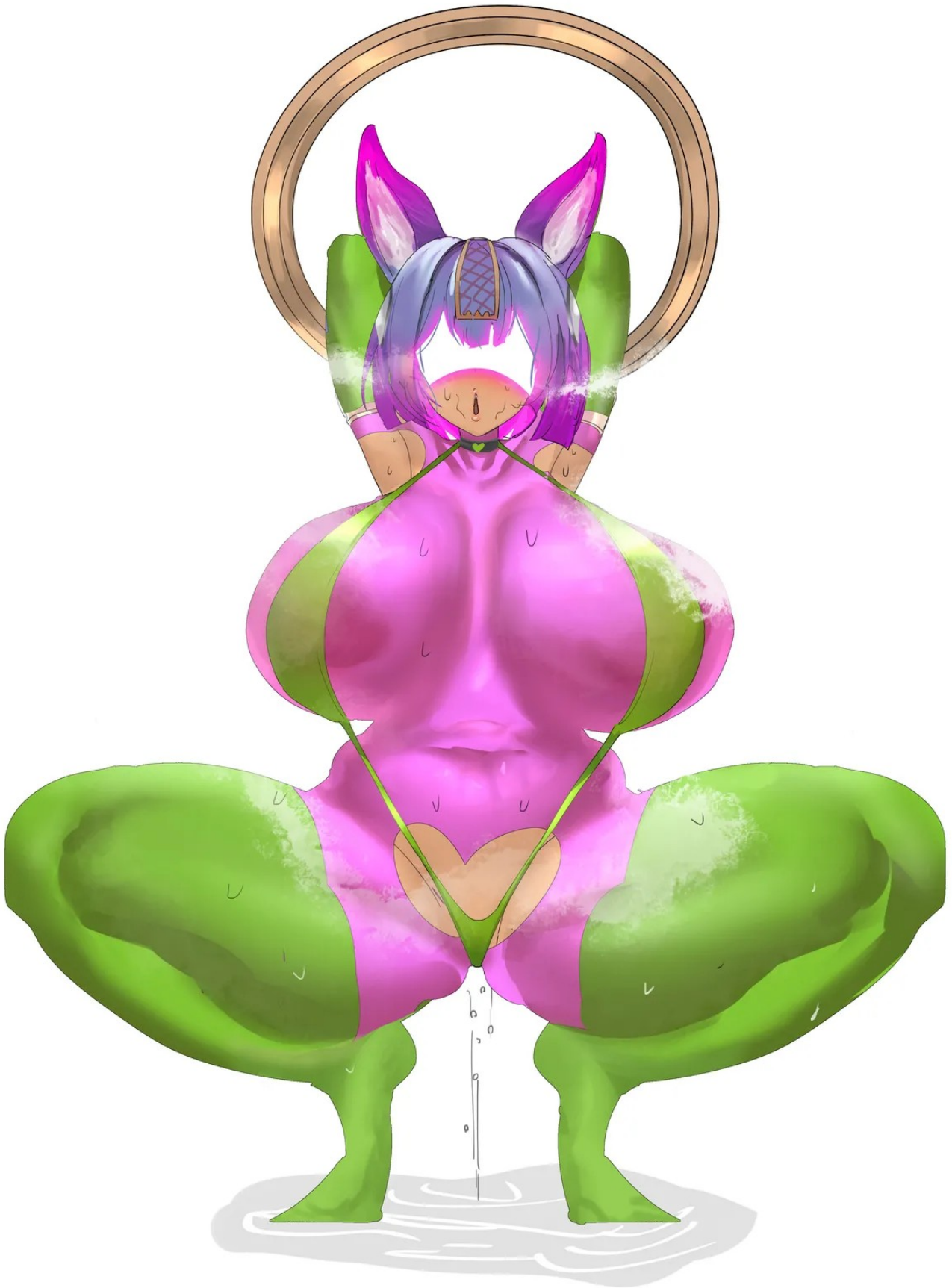






人格率60%
ザコ戦闘員LV2





人格率40%
ザコ戦闘員LV2



人格率40%
ザコ戦闘員LV2-->LV3



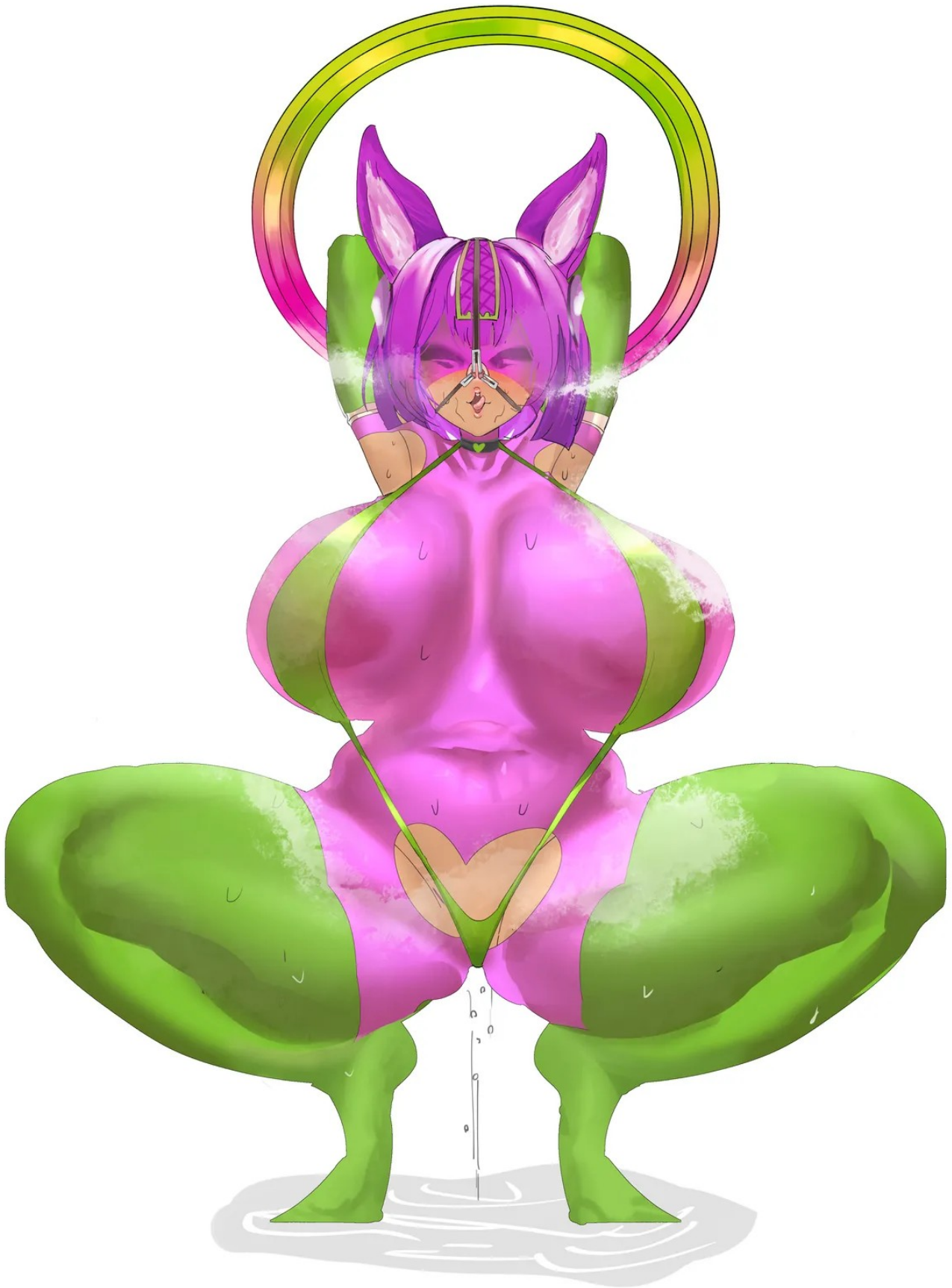




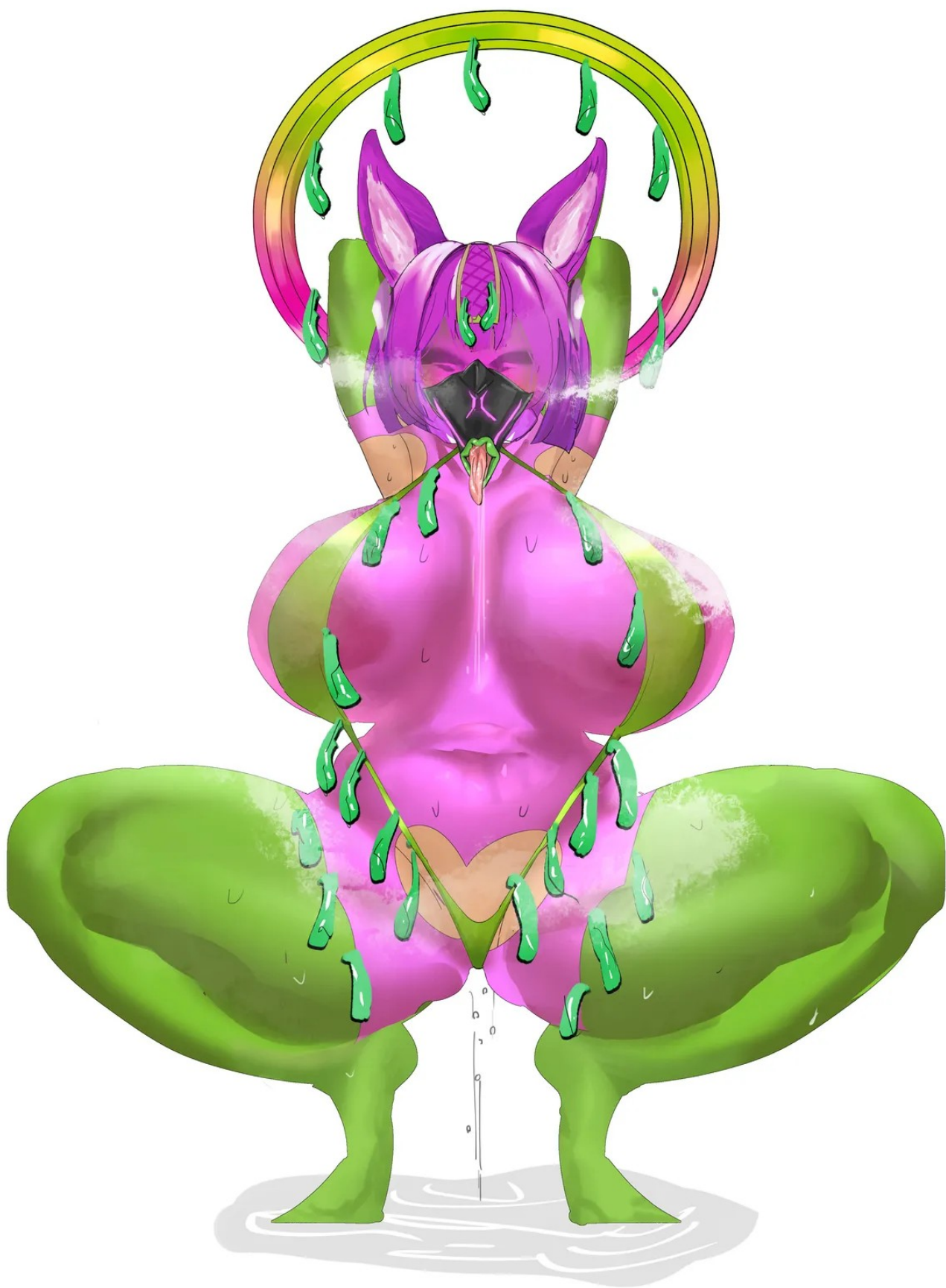




人格率20%
ザコ戦闘員LV3

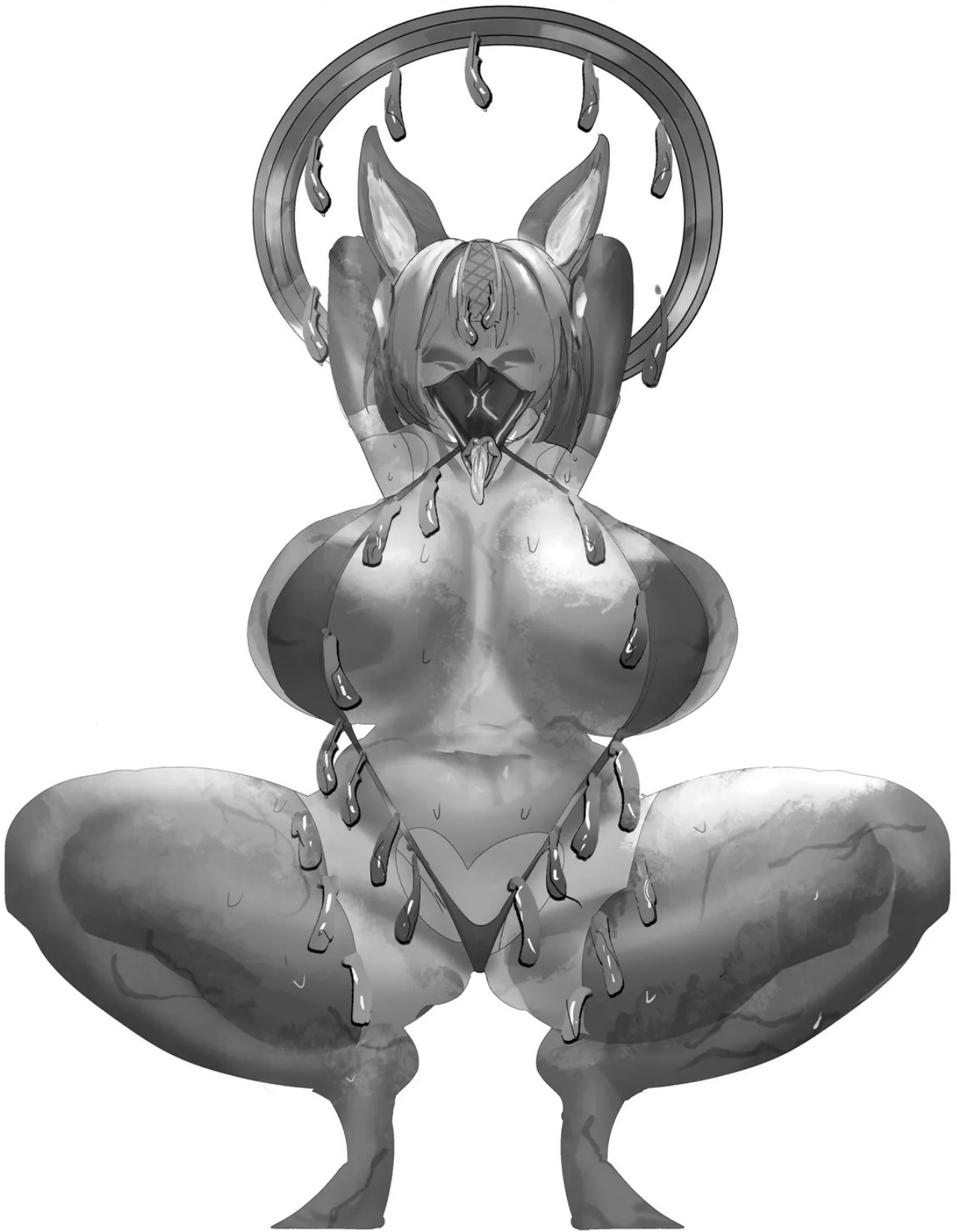


人格率20%
ザコ戦闘員LV4(不可逆)



ザコ戦闘員B(廃棄済)

魔物さんもお休み中みたいです～



変態ザコ戦闘員Y01(擬態)

千年の歴史を追う、狐火を身に纏う妖術使い。

だが今では人格排泄教会の手に堕ち、「変態ザコ戦闘員Y01」へと完全に改造されてしまってから、既にかかなりの時が流れている。

Y01がかつて持っていた力は、教会によって抽出・再構成され、性交専用の妖術として再プログラムされた。

現在の彼女は、淫らでセクシーな舞踏*を通じて他者を誘惑し、特に男性から精液を効率よく搾取するための技術を極めている。

中でも女性に対する影響は極めて強く、舞いの視覚刺激とフェロモンにより精神を容易に支配・洗脳してしまう。

この妖艶な舞は、彼女の肉体にも大きな変化をもたらし、乳房や尻はさらに豊かに膨らみ、感度もかつてとは比べ物にならないほど敏感に。今のY01は、四六時中雌フェロモンをまき散らす、発情肉体そのものと化している。

Y01は絶対的な忠誠心と高い諜報能力を持ち合わせており、周囲の者たちは彼女が既に完全洗脳済みであることにすら気づけない。それは、彼女が元の性格を完璧に演じながら、洗脳後の人格と融合した“新たな人格”として振る舞っているからである。

この優れた性質を買われ、Y01は速やかにかつて所属していた組織への潜入任務を命じられた。

かつての幼馴染であるソ○エを見事に騙し、彼女を洗脳・改造して「変態ザコ戦闘員S01」へと堕とすことに成功。実に優れた戦果を挙げた。

平時、Y01とS01は「LV1 & LV2」の状態に制御され、「外部感覚遮断」の機能を最大限に活かしながら、日常活動や精液回収、戦闘任務をこなしている。

この状態では、二人とも常時「変態ザコ戦闘服」*2を着用しており、外部からはその異常性が一切感知できない。

かつてY01は主に尻や足を使って精液を搾り取っていたが、胸を使うこともあり、最近では新たに「口愛マスク」*3が搭載されたことで、フェラによる搾精を高頻度で行うようになった。それにより業務効率が大きく向上し、男性を裏路地へと誘い込んで大量の精子を搾取、精液で満たされたコンドームを戦利品として身体にぶら下げるようになっていく。

彼女の喘ぎ声はやや鋭く高めだが、耳に心地よく響く艶やかさを持っている。獣のように交尾することを好み、男の匂いを嗅ぐことで快感を得るという、発情した雌そのものだ。

*1「外部感覚遮断」

着用者は変態ザコ戦闘服*2の上から元の衣装や他の服を重ね着することが可能で、戦闘服の異常な見た目や質感を外部から感知されることを防げる。また、着用者が漏らすいやらしい喘ぎ声すらも完全に遮断されるため、周囲にバレる心配はない。この機能はLV1およびLV2において常時発動している。ただし、LV2以降で発生する衣服のエロティックな侵食現象までは防げない。

*2「変態ザコ戦闘服」

変態ザコ戦闘員が着用する専用スーツであり、洗脳が完了した後は二度と脱ぐことができない仕様となっている。

一般的な女性は、LV1～LV4までの洗脳プロセスを経ることで、快感による強烈な精神的ショックにより元の人格を完全に消滅させられ、個性も番号も持たない、量産型の変態ザコ戦闘員へと変貌する。

しかし一部の女性は、強靱な精神力や過去の経験により、洗脳後であっても“洗脳済みの人格”として意識を保ったまま活動可能である。教会はこうした優秀な個体に番号を与え、諜報活動、精液収集、潜入破壊任務などに従事させている。

これらのナンバー持ち戦闘員は、首輪に触れることで半自律的に変身をトリガーすることが可能。LV1～LV4の状態に変化できるが、主な制御権は教会にあり、遠隔操作しやすいようにLV1～LV2の範囲に制限されることが多い。

なお、戦闘服の色には一部バリエーションが存在するものの、洗脳時間が進むにつれて最終的にはピンク×グリーンの配色に収束する。

◆LV1

全身を覆うピンク色のラバー素材で構成されたぴっちりスーツが基礎構造。肌に密着し脱着不可能。内側からは常時媚薬が分泌され、性感帯を刺激し続ける。顔にはネオン系のグリーンメイクが施され、「外部感覚遮断」が100%の効力を発揮。

◆LV2

股ギリ丈の緑ハイヒールブーツ&手袋追加。髪・目がピンク×グリーン化。服は侵食され、感覚遮断は半減。

◆LV3

グリーンまたはピンクのフルフェイスマスク（口元のみ露出）を装着。マスクは身体能力を強化すると同時に、洗脳信号と快楽信号を発する。毛髪の侵食もさらに進行し、元の服はスーツ内部に完全吸収され、以降は外衣の着用が不可能になる。

スーツ内の媚薬分泌が増加し、理性の崩壊が始まる。表情は制御不能、淫らな喘ぎ声が漏れやすくなり、心身は徐々に教会に屈服していく。

「外部感覚遮断」の効果は完全に失われるが、マスクが身元を隠す役割を果たす。

一部の戦闘員は「口愛マスク*3」を装着することでLV4へ移行が許可されるが、いったんLV4になれば、自己意思による前段階への復帰は不可能となる。

◆LV4

口愛マスク*3と鼻フックを装着し、理性・倫理観は完全に消失。脳内は性欲と教会への服従だけに支配される。もはや戦闘員ではなく、教会専属のセックス奴隷として活動。

性技は飛躍的に強化される一方で、戦闘能力はほぼ消失。絶頂のたびに乳首や秘部から「人格」を射出してしまい、教会の制御がない限り、目に映る雄を見境なく狩るようになる。

◆LV4以降

雄を見つけ次第、無差別に狩り続ける。性行為と絶頂を繰り返すことで人格がすり減り、最終的に完全消滅。肉体は空の器となり、「代理人格」が一時的に行動を引き継ぐ。教会への帰還後、LV5への変換または「廃棄処分*4」へ進行。

◆LV5

人格を失い自律不能な肉人形。教会によって実験素材として再利用。

*3 口愛マスク

異様な形状をした、口元を強調するタイプの特殊マスク。装着と同時に口腔部と舌が自動的に引き伸ばされ、マスクの内部構造に完全にフィットするように変形される。その結果、装着者のフェラチオ技術が瞬時に飛躍的向上する。

マスク着用中は媚薬が絶え間なく放出され、使用者の口腔器官を改造し続けることで、フェラチオによって膣と同等の快感を得られるようになる。快感が高まるにつれ、マスクそのものの長さも比例して伸びていく。

副作用は非常に強く、長時間の装着によって口腔が永久に変形するリスクがある。たとえマスクを外しても、口の性感帯の感度は改造時の状態を保持したまま戻らない。

このマスクは、LV3の段階で装着することでLV4への移行が許可される。ただし、LV1～LV4の順序を無視して直接装着した場合、脳が処理しきれないレベルの快感が流れ込み、即座に破壊される危険がある。

*4「廃棄処分」：人格を失った後も利用価値のある戦闘員は、教会内で奉仕活動に従事させられたり、各種変態的な実験の被検体として扱われる。

なお、教祖は彫刻趣味を持っているため、処分対象は基本的に石化処理を施され、教会内部の装飾品として設置されることが多い。教祖の経験と芸術性の進化に伴い、今後はより多種多様な変態装飾作品が生み出される可能性もある。







































